



東日本大震災の教訓
これから起こる巨大地震への対策

目次

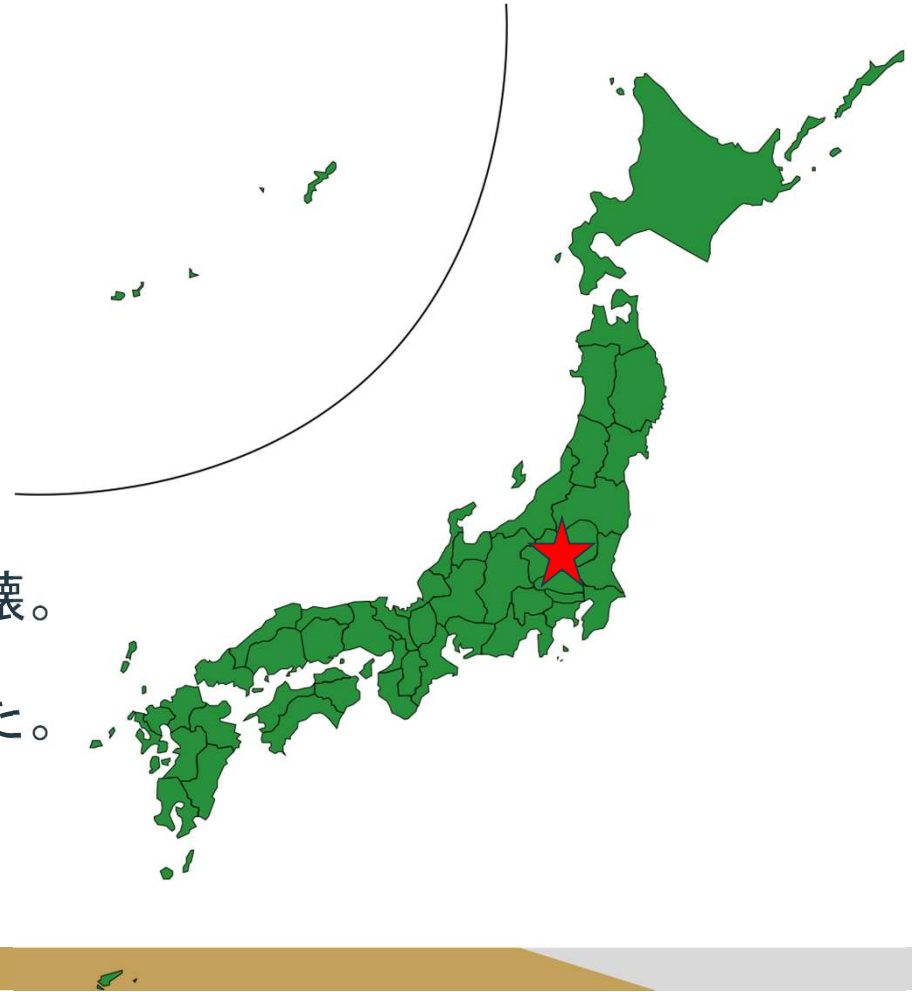
- 概要
- 体験談（各自）
- できること
- 南海トラフ大地震への対策
- まとめ

概要

- ・ 2011年3月11日14時46分頃に三陸沖で発生。
- ・ 日本国内観測史上最大で、世界でも4番目の規模の地震
- ・ マグニチュード最大9.0で宮城県栗原市で最大震度7、その周辺は震度6強～5強の地震
- ・ 死者：12都道府県で15897人、行方不明者：6県で2533人
(2019/3/7)
- ・ 自然災害：地震、火災、津波、土砂崩れ

体験談（群馬）

- 震度6弱
- 小学校、自宅共に一部損壊。
- 本震よりも余震が怖かった。



体験談（大阪）

- ・ 地震による揺れはほとんど感じられなかった。
- ・ 沿岸部でも多少波が荒くなる程度で東日本大震災による影響は0と言える。
- ・ テレビでは地震のことばかりが報道された。
- ・ 寄付活動が頻繁に行われていた。
- ・ ボランティアの募集があったように思える。

体験談（仙台）

- ・先生による話

- ・荒浜小学校

できること（個人として）

- 留学生ガイドによる仙台市沿岸部情報発信業務
- 災害に、理性的な行動をとる
- 確実に逃げること

PTSD（心的外傷後ストレス障害）

- 震災後PTSDにより苦しめられてる人が多い。自然災害により発症するのは女性で5.4%と男性3.7%
- PTSDの発症予測因子については、ソーシャルサポートの不足とトラウマ体験後の生活ストレスの存在が危険因子として挙げられる。(Brewin et al, 2000)
- 半年以内に2/3の人が自然回復、残りの人は慢性化

できること（社会として）

中長期的なメンタルヘルスケア・生活支援

- ・ PTSDの治療
- ・ 津波遺児のコミュニティをつくる
- ・ 住居の提供
- ・ 公共事業による雇用拡大

急に起こった人権問題

東日本大震災では地震、津波の影響で福島県の福島第一原子力発電所が被害を受け、放射線が漏れ出す事故が起こった。

これにより、付近の住民は避難を強いられ、家畜や農作物、海産物はすべてだめになってしまった。

その後、福島の人々に対する差別が始まった。

放射能は他人に移るわけでもないし、被害を被ったのは自分たちなのにといい気持ちの人々がたくさんいた。

南海トラフ大地震への対策

- ・南海トラフ大地震が発生すると静岡県から宮崎県の沿岸部にかけて震度7の地震が発生し、東日本大震災以上の津波が発生すると予想されている。
- ・東日本大震災で露呈した日本の弱い部分を補強する。
- ・国民全員で地震へ意識を向け、逃げ道の確保、物資の保管を徹底する。
- ・訓練を何度も行い、いざというときに対応できるようにする。

おわりに

ご清聴ありがとうございます。

Q&A